

製品名: リン酸化 RSK2 (Ser227) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02559

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 84 kDa; Observed MW: 84 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KA3 RPS6KA3; ISPK1; MAPKAPK1B; RSK2; Ribosomal protein S6 kinase alpha-3; S6K-alpha-3; 90
別名	kDa ribosomal protein S6 kinase 3; p90-RSK 3; p90RSK3; Insulin-stimulated protein kinase 1; ISPK-1; MAP kinase-activated protein kinase 1b; MAPK-activated
遺伝子 ID	6197
SwissProt ID	P51812
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

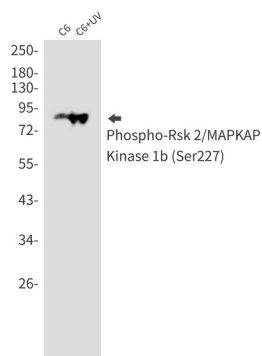
背景

この遺伝子は、RSK (リボソーム S6 キナーゼ) ファミリーに属するセリン / スレオニンキナーゼをコードしています。このキナーゼは2つの異なるキナーゼ触媒ドメインを有し、マイトジェン活性化キナーゼ (MAPK) シグナル伝達経路のメンバーを含む様々な基質をリン酸化します。このタンパク質の活性は、細胞の増殖と分化の制御に関与していることが示唆されています。この遺伝子の変異は、コフィン・ローリー症候群 (CLS) と関連付けられています。

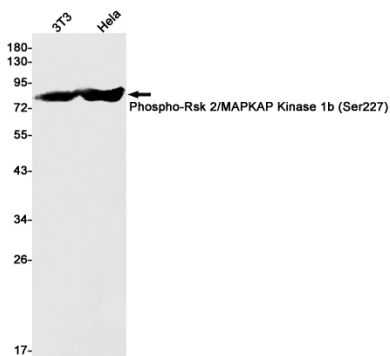
研究分野

シグナル伝達

画像データ



Phospho-RSK2 (Ser227) 抗体を使用した C6、C6+UV 溶解物中の Phospho-Rsk 2/MAPKAP キナーゼ 1b (Ser227) のウエスタン プロット分析。



Phospho-Rsk 2/MAPKAP Kinase 1b (Ser227) 抗体を使用した 3T3、HeLa 溶解物中の Phospho-Rsk 2/MAPKAP Kinase 1b (Ser227) のウエスタン プロット分析。